

深圳宿泊研修 (中学部第1学年)

8月29日(木)から30日(金)にかけて、深圳への宿泊研修がありました。

午前最初に訪れたのは、TENCENT。スマホアプリのWeChatを世に送り出した会社です。会社の前で現地ガイドから初任給や従業員数の話を聞くと、生徒からは驚きの声があがりました。次に、実験店舗として稼働している2つの店舗で買い物を体験しました。KFCでは顔と携帯番号で、SEVEN ELEVENでは、顔認証のみで商品を購入することができました。体の一部が個人情報としてお金を操作する現実を目の当たりにし、その技術に感心しました。次に訪れたのは平安金融ビル、599メートルの世界で4番目に高いと認定されたビルです。日本一高いあべのハルカスの2倍の高さを誇るビルの展望台からの眺めは壮観でした。

午後は梧桐山への登山に挑戦しました。急な階段をひた

すら上っていくのですが、途中体力の面できつくなり、「足が痛い」「少し休もうよ」と声があがる中、「大丈夫?」「もう少し行こう」などと励まし合う姿がありました。助け合おうとする気持ちが、人を支える力になることを学びました。残念ながら雷雨に見舞われ途中下山が決まり、「やった~」とつい本音が出てしまう場面では笑いを誘いました。

翌日は、ドローンで世界的シェアを誇るdjiを訪れました。ドローンの社会的使命、実際行われている活用法、安全対策、エリアごとの販売数などの講義を受けました。間近で飛び回るドローンは自由自在に動く動物のように迫りがありました。また、技術を身近に感じてもらうためのタブレット操縦型ロボマスターの紹介がありました。ロボットを操り、対戦する生徒の表情はいきいきとしていました。大変貴重な研修となりました。

